

# 東北大学大学院歯学研究科 インターフェイス口腔健康科学 第9回学術フォーラム

*Forum for Interface Oral Health Science*

## インターロイキン(IL)-10は歯周炎における 骨吸収を有意に抑制する

佐々木 元 先生

The Forsyth Institute, Department of Cytokine Biology

平成17年7月15日(金) 16:00 ~ 17:00  
歯学部B2講義室(歯学部講義棟2階)

サイトカインは種々の細胞から分泌される生理活性を持つ高分子のペプチドである。我々はサイトカインノックアウトマウス(KOマウス)を用いて様々なサイトカインが根尖性歯周炎で果たす役割をin vivoで追求している。

IL-10は免疫・炎症応答において抑制性のサイトカインとして知られている。IL-10 KOマウスは、腸内常在菌による腸炎を表現型としてはじめて報告された。この動物に実験的根尖性歯周炎および辺縁性歯周炎を惹起させたところ、野生型のマウスに比較して有意に高い骨吸収が観察された。また、IL-10 KOマウスでは骨吸収性マーカーとして知られるIL-1やRANKLの発現が有意に上昇していることから、IL-10は歯周炎において骨吸収性マーカーの発現を抑制することで骨吸収を抑制すると推測された。

本セミナーを通して歯周炎の発症、抑制機構に関して積極的な意見交換および将来の共同研究のきっかけができればと考えております。

連絡先: 研究推進企画室長 高田春比古(内線 8305)  
副研究科長 高橋 信博(内線 8294)  
第9回モデレーター 菅原 俊二(内線 8320)